



第380号

2018年6月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

聖ヘト口使徒座への献金 6月24日 教皇は人々の苦しみや悩みを聞き、優しい笑顔で力づけ、数々の援助を与えます。全世界の人々にいつも寄り添う教皇に心を合わせ、わたしたちも世界中の苦しんでいる人々のために祈りと献金をささげます。

第40回日本カトリック正義と平和全国集会 2018名古屋大会 共に生きる地球家族 今問われる、私たちの選び、私の決意 2018年11月23日(金・祝)・24日(土) 主催 カトリック名古屋教区 共催 日本カトリック正義と平和協議会

Table with 2 columns: Date and Name of the speaker. Includes dates like 3日, 10日, 17日, 24日 and names like 早川 和彦, 平澤 忠雄, etc.

〈大阪大司教区事務局からのお知らせ〉

# 前田万葉大司教 枢機卿に選出

聖霊降臨の喜びの日に教皇フランシスコより大阪教区並びに日本カトリック全体の喜びとなる発表がありました。

教皇フランシスコは、5月20日、バチカン・サンピエトロ広場に集まった巡礼者や訪問者に向けての「アレリヤの祈り」を祈る際、6月29日の枢機卿会議において、14人の枢機卿を親任することを発表しました。このうち日本からは、前田万葉大司教が選ばれ、枢機卿となります。故濱尾文郎枢機卿に次いで6人目。故白柳誠一枢機卿が亡くなって以来の、日本人枢機卿となります。

詳細は追ってお知らせいたしますが、前田万葉大司教のこれからの活躍をともに祈り下さい。



前田万葉枢機卿は現在、日本カトリック教協議会副会長。常任司教委員会委員、学校教育委員会とエキュメニズム部門の委員長なども務めている。

〈略歴〉

大阪大司教 トマス・アクィナス前田万葉 1949年3月3日、長崎県南松浦郡新上五島町知生生まれ。1975年3月19日、司祭叙階。2011年6月13日、広島教区司教に任命。同年9月23日、司教叙階。2014年8月20日、大阪大司教に任命。同年9月23日、着座。2018年5月20日、枢機卿に任命される。

## 松浦司教

### 「神の思い 実現の道歩もう」

#### 卯辰山殉教者ミサ

金沢・卯辰山の浦上キリシタン流刑地跡で4月30日、殉教者ミサが行われた。松浦悟郎司教が主司式、浅井太郎神父(殉教者顕彰委員長)、チブリアノ神父(金沢主任)のほか北陸ブロックの司祭たちが共同司式した。名古屋からのバスツアー組48人を含む信徒約100人が参列した。

江戸時代末期から明治時代初期にかけて、長崎でキリシタンへの大規模な弾圧事件があった。捕縛、投獄された3千3百余人の浦上の信者たちは、明治新政府によって尾張・越中以西の諸藩に流された(浦上四番崩れ)。そのうち56人が1869(明2)年、金沢に連れてこられ卯辰山に収容された。1873(明6)年の釈放令までに、この地で百余人が折檻や飢餓、病気で命を落としました。



「浦上から流された人たちは自分たちの流刑のことを『旅』と言った。苦しい道であったが、その道を通りながら、少しずつ信仰の確信を深めていったのではないか。彼らが浦上で捕まって流される時に感じたことと、ここへ来て感じたことと、それから何カ月も経って感じたこととはまったく違うのではないかと『思う』」



殉教者ミサ後、参加者全員で記念撮影

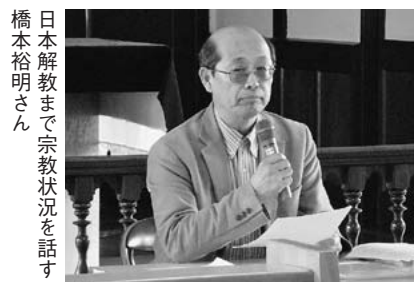
松浦司教は説教で、川村信三神父(イエズス会)のキリシタンの記事(カトリック新聞4月29日付)を取り

### キリシタン史勉強会はじまる 「現代の迫害を 生きるために」

日本の信仰の基礎であるキリシタンや殉教者のことを学び直し、その生きる方を見直し、今日の私たちの生き方に繋げようと、キリシタン史勉強会の第1回勉強会が主税町記念聖堂で開かれ、約30人が熱心に聴き入った。勉強会は名古屋と金沢それぞれ



の私たちが繋げようと、キリシタン史勉強会の第1回勉強会が主税町記念聖堂で開かれ、約30人が熱心に聴き入った。勉強会は名古屋と金沢それぞれ



日本解散まで宗教状況を話す橋本裕明さん

私たちの良心とか信仰を生きる中で、それを妨げようとするもの、それを無くそうとするような力が現代では違った形でものすごく大きくある。そこに私たちの学びの目的が無かったなら、昔はこんな偉大な人がいた、というだけの研究に終わってしまう。最終的には、私が今立っている場で、信仰をどう生きるかに結びついていくだろう」と述べた。

### 浦上キリシタン流刑者のためのミサ

#### 江戸時代に二百数十年間を 耐え抜いた信仰の伝統をつなぐ

卯辰山巡礼前日の4月29日、「浦上キリシタン流刑者のためのミサ」が浅井太郎神父(一宮教会主任)司式によって捧げられ、約50人の信徒が参列した。



ミサを捧げる浅井太郎神父(左)と早川和彦助祭

浅井神父はミサの中で、キリシタン流刑者について年代順に振り返った。その中で名古屋の特徴「改心もどし」について触れた。1870(明3)年夏、いったん全員が「改心」(棄教)したが、その後改心の取り消しが相次ぎ、次の年7月の時点で改心者の大部分が取り消していたという。

「主よ、私を引きつけるのはあなたご自身です。私の心を揺り動かすのは十字架につけられたあなたのお姿です(十字架のキリストへの祈り)より」などの言葉から、ザビエルの宣教に賭ける熱い思いが伝わってきた。



# 社会委員会、発足して1年 活動の振り返りと今後の課題



社会委員会が発足して1年。2月25日、教区センターにて、松浦信昭司教を交えて社会委員会が開かれた。2人以上出席の小教区もいくつもあり、熱気に満ちた会合となった。

「社会委員の役割について今一度確認する。教区が社会に向かっていることを証明していく、あるいは、この社会が神の望まれている社会になっていくように、教区は派遣する使命がある。」

「社会委員の役割の一つ目、教会を通して発する様々なインフォメーションをすべての信者に必ず伝える。自分が賛成とか反対とかに関わらず、皆にきちんと伝える。その判断をするのは一人一人、知る権利がある。」

「二つ目、疑問点は学問が信徒から出てくると思う。例えば、「どうして教会は原発に対してNO!と言ったのだろうか」「なぜ憲法を守るのか」と言っているのだろうか」

「これからの回答で、社会委員として伸びのびと活動している小教区と、主任司教の理解が得られず、チラシの掲示すら思うように出来ないという小教区の違いが浮き彫りになった。」

「社会全体発表では、「社会委員について皆に理解してもらえよう工夫し、地道に説明してきた結果、反対していた人たちにも理解してもらえようになった。現在、信徒集会を2カ月に1度開き、社会問題について話し合っている」「憲法や原発問題などの勉強会を定期的に行っている」

「去年から子ども食堂をはじめた。ボランティアスタッフが信者以外の人たちが多い」「教会内で温度差がある。どうしたら自分たちの問題として分かってもらえるだろうか」などの意見が出た。

「社会委員の役割について今一度確認する。教区が社会に向かっていることを証明していく、あるいは、この社会が神の望まれている社会になっていくように、教区は派遣する使命がある。」

## 第1回

### 「性虐待被害者のための祈りと償いの日」

#### 日本での実情報告と司教ミサ



宮本信代さん(カトリック中央協議会秘書)が日本での聖職者による性虐待の報告をした。

2004年カトリック新聞広告欄でのアンケート協力を請に、110件の回答が寄せられた。身体的ハラスメント、言葉によるハラスメントなど、アンケートには生々しい実態が記されており、教会内部でもセクハラが存在することが明らかになった。

「教会の対応について」の回答では、「うやむやにする」「取り合わない」「被害者が責められる」「許さない」「あなたにも問題があるのであるのでは?」「過去のことは忘れなさい」「あの神父様

がそんなことをするはずがない」などの言葉が向けられ、さらに傷つけられた」など記されていた。

被害を受けたと訴えてきた子どもへの初期対応では、子どもの心を配慮して、「誰が何をしたか」だけを聞き、教区相談窓口または司教に連絡をすることを勧めている。

被害者が責められる「二次被害」について。加害行為が行われなければ被害者は生まれない。励ますつもりで言った言葉も、被害者の心の叫びをまず受容しなければ凶器となる。性虐待や性暴力は重大な犯罪、被害者は何も悪くはない」という意識で理解し、100%被害者の立場に立ち、二次被害を防ぐことが大切

名古屋教区セクシャルハラスメント対策委員長小瀬木尚美さんからは名古屋教区の取り組みについて説明があった。

ミサのはじめに松浦司教は「2003年から関わっているが、被害者の方々の中には愕然とするほど本心に大きな心の傷を負っている人がいる。世界中で多くの人が傷ついていること、その現実を直視しながら、ミサの中で彼ら彼女らのために祈りたいと思います」とあいさつをした。続いて、被害者の方々の想像を超えた、痛みと苦しみの声が、静かな音楽を背景に文字で次々とスクリーンに映された。

名古屋教区はその第1回の集いと司教ミサを、3月24日布池教会小聖堂で行った。約20人が参加し、共に祈った。

担当司祭である岩崎一三神父のあいさつに続いて今一度確認する。教区が社会に向かっていることを証明していく、あるいは、この社会が神の望まれている社会になっていくように、教区は派遣する使命がある。」

「社会委員の役割の一つ目、教会を通して発する様々なインフォメーションをすべての信者に必ず伝える。自分が賛成とか反対とかに関わらず、皆にきちんと伝える。その判断をするのは一人一人、知る権利がある。」

「二つ目、疑問点は学問が信徒から出てくると思う。例えば、「どうして教会は原発に対してNO!と言ったのだろうか」「なぜ憲法を守るのか」と言っているのだろうか」

「これからの回答で、社会委員として伸びのびと活動している小教区と、主任司教の理解が得られず、チラシの掲示すら思うように出来ないという小教区の違いが浮き彫りになった。」

「社会全体発表では、「社会委員について皆に理解してもらえよう工夫し、地道に説明してきた結果、反対していた人たちにも理解してもらえようになった。現在、信徒集会を2カ月に1度開き、社会問題について話し合っている」「憲法や原発問題などの勉強会を定期的に行っている」

「去年から子ども食堂をはじめた。ボランティアスタッフが信者以外の人たちが多い」「教会内で温度差がある。どうしたら自分たちの問題として分かってもらえるだろうか」などの意見が出た。

「社会委員の役割について今一度確認する。教区が社会に向かっていることを証明していく、あるいは、この社会が神の望まれている社会になっていくように、教区は派遣する使命がある。」

「社会委員の役割について今一度確認する。教区が社会に向かっていることを証明していく、あるいは、この社会が神の望まれている社会になっていくように、教区は派遣する使命がある。」

名古屋教区セクシャルハラスメント対策委員長小瀬木尚美さんからは名古屋教区の取り組みについて説明があった。

## 地下墓地 カタコンベの世界

### ～地下世界に魅せられた研究者たち～

この企画は西南学院大学の先生方が研究の合間に集めてこられた貴重な個人コレクションを、博物館スタッフと協力して一挙公開するものです。名古屋教区内での開催はありません。ご興味のある方はお出かけください。

日時 4月2日(月)～6月30日(土) 10:00～18:00(入館は17:30まで)  
会場 西南学院大学博物館1階特別展示室・2階講堂 福岡県福岡市早良区西新3丁目13番1号  
☎092-823-4785 Fax 092-823-4786  
入場料 無料(日曜日は休館)  
入場協力 山田順研究室(西南学院大学国際文化学部国際文化学科)、南山大学教皇庁認可神学部図書館 西南学院大学  
問合せ 南山大学人文学部キリスト教学科 在名古屋教皇庁認可神学部事務・西田尚美  
☎052-832-3111 E-mail: nnishida@ic.nanzan-u.ac.jp

## 「お米の一握り運動」終了のお知らせ

信徒使徒職協議会愛の活動として長年続けて参りました「お米の一握り運動」は、2018年6月23日(土)に開催する委員総会の日をもちまして終了させていただきます。教区センター敷地内の保冷庫へのお米の持ち込みも、同日までのものは「神の愛の宣教教会」へお届けさせていただきますが、それ以降につきましては各教会から直接修道会へお持ち頂けたら幸いです。

こうした決定に至りましたのは、(1)お米の受入先が「神の愛の宣教教会」の一箇所になり、その修道会も現在喜んで受けて頂いてはいますが、今後の継続を切望しているわけではないこと。(2)新生信徒協の主な活動を、教区内の信徒使徒職を実行している個人やグループの情報を収集整理発信して、教区の活性化に役立たせるという方向に変えたためです。これまで長い間本当に大勢の皆様のご協力に、心からのお礼を申し上げます。次期は、信徒使徒職協議会 会長 滑川正雄

## 『聖書 新共同訳』の「御子(みこ)」の読み替えについて

カトリック教会の典礼式文では「御子」を「おんこ」と読んできましたが、典礼における聖書朗読で使用している『聖書 新共同訳』では「御子」を「みこ」と読んでいます。そのため同じミサの中で「おんこ」と「みこ」の両方が使用される場合があり、「おんこ」に統一してほしいとの要望が日本カトリック司教協議会に寄せられていた。

これを受けて同典礼委員会が『聖書 新共同訳』の「御子(みこ)」を「おんこ」と読み替える可能性について日本聖書協会と協議を重ねた結果、同協会からカトリック教会の典礼における聖書朗読に限って「御子」を「おんこ」と読み替える許可を頂き、4月5日に開催された日本カトリック司教協議会常任司教委員会において、本件に関して以下の事項が承認ならびに確認されました。

### 実施開始日

『聖書 新共同訳』で使用されている「御子(みこ)」から「おんこ」への読み替えは、本年の聖霊降臨の主日の翌日(5月21日)から実施します。

### 留意事項

- 1、今回の読み替えは、カトリック教会の典礼における聖書朗読に限って実施されます。
- 2、カトリック中央協議会発行の『主日の朗読聖書』と『朗読聖書一聖なる過ぎ越しの3日間』を用いる場合、該当箇所を「おんこ」に読み替えます。なお該当箇所は今後の重版の際に「おんこ」に修正されます。
- 3、カトリック中央協議会発行の月刊誌『毎日のミサ』は本年7月号から「おんこ」に修正して発行予定。
- 4、他のカトリック出版社から発行されている典礼用冊子を用いる場合も同様に「おんこ」に読み替えます。
- 5、朗読箇所のみが示され、それにしたがって『聖書 新共同訳』を用いて朗読する場合も「おんこ」に読み替えます。

## カトリック召命チーム企画

### 第4回 召命担当者の集い

#### 「青年が教会に求めていることは？」

アと召命(聖パウロ修道会・井手口満修道士) 講演3 青年の召命促進について(高松教区司教・諏訪榮治郎司教) シンポジウム「養成の現場から」ではパネラーとして日本カトリック神学院・大山悟神父、コンベンツァル聖フランシスコ修道会・平孝之神父より、教区と修道会の養成の現場からの報告があり、質疑と応答の後、諸問題についての話し合いが行われた。

その中で昨年開催された「若者と教会」シンポジウム「東京教区の青年」の発言から次のまとめがあった。『教会について』教会は「神の恵み」が働くところ。教会は「居場所」(居ても良い場所)へ帰ってくる場所) 『召命について』召命という言葉はキリスト者の召命など広い意味で使われてほしい。結婚の召命。独身で社会の中で人のために生涯を捧げる召命 『若者から教会への要望』若者が教会で何が出来るかを教えてほしい。若者が「帰る場所」(居場所)へ安心して安らげる場所としての教会を造ってほしい。若者への心からの「おもてなし」ができていくのだろうか。若者たちは神の恵みがあふれている教会共同体を切望している。若者たちは「場」《関わり》《出会い》を求めている。

等々の報告があった。さいごに、諏訪榮治郎司教主司式、6人の司祭による感謝の派遣ミサが行われて閉幕した。(美濃加茂教会・梶川清一)



青少年の召命促進について講演する諏訪榮治郎司教



### 正義と平和・名古屋大会の概要

日本カトリック正義と平和全国集会の第40回大会が、この秋、名古屋教区主催で開催されます。

今年10月に列聖が決まった福者パウロ6世教皇が1967年、教皇庁に正義と平和委員会を設置されたのを受け、日本でも70年に司教協議会に正義と平和委員会が発足。その後、正義と平和協議会と改名され、75年に第1回全国会議が行われました。名古屋では、76年(第2回)、89年(第15回)、2000年(第16回)と過去3回開催されています。その間、社会司教協議会参加のあらゆる部門(難民移住移動者委員会、カリタスジャパン、部落差別人権委員会、子どもと女性の権利擁護のためのデスク、HIV/AIDS デスク)が分科会を催すようになり、いまでは日本のカトリック教会が取り組む社会問題の全体像を提示する場となっています。

今回、名古屋教区で開催するにあたり、松浦悟郎司教は名古屋教区の全小教区に対し、開催当日(2018年11月23~24日)には行事などを予定しないようにし、できるだけ多くの信徒が参加するようにと配慮を求めています。

以下、その概要をお伝えします。

#### 第40回日本カトリック正義と平和全国集会2018名古屋大会

大会テーマ 「共に生きる地球家族  
—今問われる私たちの選び、私の決意—」  
日程 11月23日(金・祝)・24日(土)  
会場 カトリック布池教会および名古屋市内内外のカトリック教会施設

〈プログラム〉  
11/23(金・祝)  
12:00 受付開始 [布池教会大聖堂]  
13:00 開会式  
13:30 基調講演  
「世界のゆがんだ経済格差、その現実と原因」  
講師:羽後静子(中部大学国際関係学部)  
14:20 シンポジウム  
講師:ヨゼフ・アベイヤ神父(クラレチアン宣教会)  
講師:弘田鎮枝修道士(ベリス・メルセス宣教修道女会)  
16:00 パネルディスカッション  
シンポジストの皆さん 司会:松浦悟郎司教  
18:00 懇親会 [布池教会聖ヨゼフ館]  
11/24(土)  
10:00~16:00 第1~第16分科会 [名古屋市内内外の教会施設]  
17:00 まとめ・派遣ミサおよび閉会式 [布池教会大聖堂]

分科会一覧  
第1 移住者と日本社会とカトリック教会  
第2 低線量被曝と福島からの声  
第3 東アジアの和解と平和  
第4 差別と向き合う —ハンセン病をととして—  
第5 LGBTと人権  
—僕がゲイクリスチャンで良かったこと—  
第6 教会の中の性虐待・性暴力を防止する  
—私たち一人ひとりの問題として—

第7 私が牢にいたとき訪ねてくれた  
—死刑囚との交流から—  
第8 排除のない社会をめざして  
—日韓の自死・自殺への取り組みから—  
第9 排除 ZERO キャンペーン  
国籍をこえて人びとが出会うために  
第10 国策の道具として利用され虐げられてきた沖縄  
琉球処分から普天間基地移設問題まで  
第11 福音を生きたとは —優生思想に対抗して—  
第12 受刑者の回復と社会復帰支援  
—キリストの愛と赦し—  
第13 私を平和の道具としてください  
—憲法9条がめざすもの—  
第14 つながりの貧困  
第15 リニア中央新幹線を問う  
—それでもあなたは乗りますか—  
第16 美しい若狭を守ろう —世界一の原因密集地域から—

※交流会と一部の分科会は、事前申込および参加費が必要です  
※詳細は、これから発表されます

主催 カトリック名古屋教区  
共催 日本カトリック正義と平和協議会  
大会実行委員会事務局  
〒461-0004 名古屋市東区葵2-6-29 福信館内  
☎052-935-7180 Fax 052-935-7195  
E-mail: s.fukuin@nagoya.catholic.jp

### 第33回障害者のつどい

“生まれてきてよかった、  
生きていてよかったと思いたい”  
—優生思想と人権—

日時 7月15日(日) 9:00(受付開始)  
10:00 交流会・司教ミサ・その他  
16:30(終了予定)  
場所 カトリック熱田教会 名古屋市熱田区伝馬2-28-14  
☎052-671-4549 Fax 052-671-4624  
交通 ①名鉄・神宮前駅から徒歩  
神宮東門乗車、内田橋北駅下車、徒歩5分  
②地下鉄名城線・伝馬町駅から徒歩10分  
※駐車台数に制限がありますので、上記の方法でご来場ください。  
テーマ 「生まれてきてよかった、生きていてよかったと思いたい」  
参加費 大人1,200円 中高生700円 小学生以下無料  
申込期限 7月2日(月)  
共催 教区障害者連絡会、教区社会福祉委員会、宣司評城南ブロック  
後援 カトリック名古屋教区  
問合せ 社会福祉委員会 ☎052-852-1426

### 青年女性のための召命黙想会

テーマ「わたしの愛にとどまりなさい」

指導 トントン師(神言会)  
対象 青年女性  
日時 6月16日(土)14:00~17日(日)16:00  
場所 八事聖霊修道院  
参加費 3,000円  
問合せ・連絡先 八事聖霊修道院  
☎052-832-0434  
E-mail: seirei-voc@kss.biglobe.ne.jp

### 名古屋教区「一粒会の集い」

日時 6月17日(日)14:00~16:30  
講演 飯野耕太郎(長浦教会主任司祭)  
テーマ「神の恵みによって今日の私があるのです」  
場所 カトリック緑ヶ丘教会  
名古屋市緑区ほら貝1-238-1 ☎052-876-9723  
プログラム  
13:30受付開始 14:00開会と挨拶 14:10講演会  
15:15司教ミサ 16:30閉会 閉会後に茶話会  
交通 出来る限り公共交通機関をご利用ください。  
地下鉄桜通線「相生山」駅2番出口より徒歩5分  
駐車場 27台  
主催・問合せ 名古屋教区一粒会  
西村由美子 ☎090-1279-9932

### 正義と平和委員会の学習会

11月23日・24日に名古屋教区で開催する正義と平和全国集会に向けた事前学習会です。ご参加ください  
○6月16日(土)13:30~15:30  
テーマ「憲法」  
講師 猪瀬俊雄(正平委員長・高蔵寺教会)  
○8月18日(土)13:30~15:30  
テーマ「天皇制」  
講師 シスター三好(援助修道会)  
○10月20日(土)13:30~15:30  
テーマ「沖縄」  
講師 浅見裕子(フォトジャーナリスト)  
○11月17日(土)13:30~15:30  
テーマ「原発」  
講師 河田昌東(チェルノブイリ救援中部)  
会場 いずれも名古屋教区センター  
主催・問合せ 教区正義と平和委員会 Fax 052-935-7195

### 「青年のための聖書の学び」6月17日(日)

テーマ ルカ17章 来る「神の国が」(赦し・奉仕)  
対象 青年男女(18~32歳)  
時間 14:00~19:50(高校生16:30まで)  
担当者 シスター旋(いかり)政子  
連絡先 聖マリアの無原罪教育宣教修道会  
名古屋市千種区園山町1-56 ☎052-782-5850  
FB 「青年のための聖書の学び」  
HP http://www.concepcionistas.jp/

### 新刊案内

#### 「ミサの鑑賞—感謝の祭儀をささげるために—」

吉池好高 著  
発行:オリエンズ宗教研究所 ¥1,296(税込)

カトリックの信仰内容を表すミサを正しく見つけ、味わうために。イエス・キリストとその弟子たちが示した、圧倒的な愛とゆるしの姿を感じ取る体験へと導く。日本カトリック典礼委員会担当司教・白浜満司教推薦。

「ミサの鑑賞」という表題はいささか問題があるかもしれませんが。ミサは鑑賞の対象ではなく、私たちが行動的に参加し、ともにささげるものだからです。しかし、ともに参加し、ともに祈るためには、ミサの中でどのようなことが行われ、どのようなことが祈られているのか、ミサの参加者である私たちに正しく理解されていなければなりません。カトリック教会の現行のミサ式次第に沿ってそれを味わうことは、ミサへの主体的、行動的参加のための出発点であると思います。ミサ式次第、典礼文は、私たちがささげるミサの台本のようなものです。演出家や俳優たちが上演する演劇の台本を読み込むように、あるいは、指揮者や演奏家が演奏する曲目の楽譜を前もって念入りに研究するように、ミサを私たちの祈りとするためには、まずミサの式次第と典礼文を味わうことが大切です。」(本文より)



### 東日本大震災・災害支援金の年間累計報告

自2011年3月17日~至2018年3月31日

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。 社会福祉委員会  
暖かいご支援に心より感謝いたします!!

(振込手数料引去後の金額)

項目	単月明細 3/1~3/31	2011.3.17 発災から 2018.3.31までの合計
収入		
支援金総額(※1)	760,515	29,645,727
収入合計	760,515	29,645,727
支出		
カリタスジャパンへ	600,000	11,235,367
さいたま教区・災害支援金へ	0	1,000,000
カリタス南相馬ベース支援	620,000	1,779,450
福島移住女性支援ネットワーク	200,000	490,000
福島被災地(狩浦神父活動)支援	100,000	100,000
大阪教会管区(大船渡・南三陸)支援	50,000	14,006,234
オールジャパン会議交通費	0	123,620
大船渡ベースへ車いす4台贈呈	0	123,200
大船渡ベースへピアノ贈呈	0	58,800
ベース支援ボランティア交通費補助	0	491,150
災害支援金口座へ	185,193	185,193
支出合計	1,755,193	29,593,014
単月・支援金残高	52,713	52,713
支援金残高合計		52,713

※3月度に支援金のご協力いただいた小教区・個人(敬称略)

岡崎、鳴海、一宮、金沢、布池、豊橋、高蔵寺、半田、港、浜野 要

★名古屋教区の支援金は  
カリタス大船渡ベースとカリタス南三陸(旧・米川ベース)、カリタス南相馬、カリタスジャパン(東日本大震災募金)、そして、福島での活動団体を中心に支援してまいります。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

☆4月の支援金の振込はありませんでした。引き続きよろしくお願ひ致します。

★支援金振込先 郵便振替用紙にて  
口座番号 00880-6-1628  
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会「東日本大震災・災害支援金」と記入願ひます。

ご連絡・問合せ先  
社会福祉委員会  
電話 052-852-1426  
FAX 052-852-1422





**6月の教会暦**  
 1日(金) 聖ユスチノ殉教者(記)  
 3日(日) キリストの聖体(祭)  
 5日(火) 聖ポニファチオ殉教者(記)  
 8日(金) イエスのみ心(祭)  
 9日(土) 聖母のみ心(記)  
 10日(日) 年間第10主日  
 11日(月) 聖バルナバ使徒(記)  
 13日(水) 聖アントニオ(パドバ)司祭(記)  
 17日(日) 年間第11主日  
 21日(木) 聖アロイジオ・ゴンザガ修道者(記)  
 24日(日) 洗礼者聖ヨハネの誕生(祭)  
 28日(木) 聖イレネオ司教殉教者(記)  
 29日(金) 聖ペトロ・パウロ使徒(祭)

**7月の教会暦**  
 4日(水) 社会福祉委員会  
 8日(日) 城東B会議/三河B会議/教区中高生会  
 10日(火) 樹の会  
 14日(土) 信徒協役員会  
 15日(日) 城北B会議/城南B会議/教区障害者のつどい\* /青年委員会  
 17日(火) 難民移住移動者委員会/カトリック看護協会例会  
 19日(木) 教区顧問会\* /月集\*  
 21日(土) レジオ名古屋クリア  
 28日(土) 典礼委員会

**6月の教会行事予定** (\* 松浦司教)  
 2日(土) 濃尾B会議  
 2日(土) 3日(日) 管区青年の集い  
 5日(火) 社会福祉委員会  
 9日(土) 信徒協理事会  
 10日(日) 宣教師司牧評議会\*  
 12日(火) 樹の会  
 13日(水) 松浦司教着座記念日  
 14日(木) 教区顧問会\*  
 16日(土) 正義と平和学習会/共助連

**6月の教会行事以外の松浦司教予定**  
 2日(土) 3日(日) 大阪教区管区青年の集い(広島)  
 6日(水) 日本カトリック難民移住移動者委員会  
 7日(木) 常任司教委員会、社会司教委員会  
 12日(火) 子どもと女性の権利擁護のためのデスク  
 13日(水) 9条世界宗教者会議(広島)  
 18日(月) 大阪教区管区司教団ミサ(津和野の殉教者)

**7月の教会行事**  
 5日(木) 常任司教委員会  
 9日(月) 13日(金) 司教総会  
 16日(祝) 17日(火) AOS全国研修会  
 17日(日) 絡会/レジオ名古屋クリア  
 17日(日) 黙想会  
 19日(火) 愛岐B会議/一粒会の集い(緑ヶ丘教会)\*  
 19日(火) カトリック看護協会例会  
 21日(木) 司祭評議会\*  
 21日(木) 信徒協役員総会  
 24日(日) 修女連交流会  
 25日(月) 26日(火) 司祭研修会  
 30日(土) 典礼委員会  
 4日(水) 社会福祉委員会  
 8日(日) 城東B会議/三河B会議/教区中高生会  
 10日(火) 樹の会  
 14日(土) 信徒協役員会  
 15日(日) 城北B会議/城南B会議/教区障害者のつどい\* /青年委員会  
 17日(火) 難民移住移動者委員会/カトリック看護協会例会  
 19日(木) 教区顧問会\* /月集\*  
 21日(土) レジオ名古屋クリア  
 28日(土) 典礼委員会

**7月**  
 5日(木) 常任司教委員会  
 9日(月) 13日(金) 司教総会  
 16日(祝) 17日(火) AOS全国研修会

**2018年度キリシタン史勉強会のお知らせ**

**第2回**  
 主税町記念聖堂 7月16日(月・祝) 13:00~  
 金沢教会 9月9日(日) 14:00~  
 キリシタン文化を考える(青山玄神父)  
 仮題 「日本に影響を与えた宣教師がもたらしたキリスト教」

**第3回**  
 主税町記念聖堂 11月3日(土・祝) 13:00~  
 金沢教会 11月18日(日) 14:00~  
 キリシタン禁制の歴史その1(浅井太郎神父)  
 仮題 「豊臣秀吉、徳川家康、秀忠、家光の時」

講師の都合により講題テーマは変更になる場合があります  
 お申込み不要 参加無料(席上献金あり) ご希望の方は各教会へお出かけください  
 主催 カトリック名古屋教区殉教者顕彰委員会  
 問合せ ☎052-936-8366

**告知板**

**福信館便り** ☎052(935)7180  
 ◇6月の炊き出し 木7日東山  
 14日布池、21日聖霊・南山・樹の会  
 28日城北橋 金1日喜望の会、8日AJU・恵方町、15日南山、22日布池、29日江南

**建設費の返済に協力を**

580件 28,833,675円  
 目標額 40,000,000円 (4月末)

達成率 約72.0%

郵便振替 00810-5-50605  
 加入者名 カトリック名古屋教区  
 通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

**30日帰天。76歳。**  
 1941年11月22日滋賀県大津市生まれ。1963年7月2日コンベンツアル聖フランシスコ修道会に入会。1973年11月3日司祭叙階(東京カテドラル関口教会)。2002年4月1日春日井修道院、修道院長、春日井教会主任司祭。2017年4月1日瀬戸修道院、春日井教会助任司祭。親しみのある素朴な詩やイラストを多くの人に送り励ました。笑顔の絶えない司祭であった。

**訃報**

アルナルド谷村達郎神父(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)

湯江修道院で入院生活の後、聖フランシスコ園で療養していたが4月

**福信館春のバザーのお礼**

4月22日に開催した「福信館炊き出しバザー」には沢山の方にご来場いただき有難うございました。当日は真夏を思わせる暑い日となりました。テントもいつもよりたくさん張り、準備したことで少しは暑さをしのぐことができ、用意した食品も完売しました。

この春祭りのバザー(炊き出し支援のため)も28回となります。地域の方は楽しみに待っていて下さり、教会関係の方たちには交流の場となっていることは、とても喜びです。皆様の協力のおかげで52万円の収益を得ることもできました。この収益は炊き出し活動のために、大切に使用させていただきます。(福信館春のバザー実行委員会)

**主にささげる24時間~聖体礼拝**

毎月第2・第4(木) 19:00~(金) 19:00 主税町記念聖堂  
 問合せ ☎052-935-2223 (教区事務所)  
 090-1623-1170 (平田政信神父)

**聖パウロ女子修道院(聖パウロ書院)からお知らせ**

**ロザリオの祈り**

修道院のチャペルで、シスターたちと一緒に「ロザリオの祈り」をしませんか。

日時 毎月第2日曜日 14:00~(40分程度)  
 6月10日(日) 7月8日(日)  
 8月はお休み 9月9日(日)

**読書会**

日時 毎月第3土曜日 14:00~15:30  
 6月16日(土) 7月21日(土)  
 8月はお休み 9月15日(土)

(9月迄書籍「パウロの福音」を読んでいます。)

「ロザリオの祈り」「読書会」はどなたでも自由に参加頂けます。詳しくは、聖パウロ書院へお問い合わせください。  
 連絡先 聖パウロ書院  
 ☎052-936-4443 Fax 052-799-4461

**『毎月第1土曜日・ロザリオの集い』**

日時 毎月第1土曜日 13:00~  
 場所 カトリック押切教会 名古屋市西区名西1-12-5  
 司祭 島袋幹男神父、他

**スケジュール**  
 13:00~聖体賛美式・ゆるしの秘跡・ロザリオの祈り  
 14:00~ミサ  
 15:00~聖母マリアの汚れなきみ心への奉獻の祈り  
 15:30~お茶タイム

主催 ロザリオの集いの会  
 問合せ 高木光男 ☎090-5451-4775

**名古屋教区神言会・聖霊会 JPIC 勉強会シリーズ第2回**

**共に生きる地球家族**

日時 7月1日(日) 13:30~16:00 (開場13時)  
 場所 カトリック南山教会マリア館2階  
 (地下鉄鶴舞線いりなか駅下車徒歩5分)

テーマ 「今の世界を動かしている勢力とわたしたちの無力感~草の根からの働きかけの可能性~」

講演者 三保 学氏  
 (兵庫県立大学経済学部・応用経済学科教授)

主催 神言修道会・聖霊会 JPIC 委員会  
 名古屋教区正義と平和委員会  
 問合せ 福信館 ☎052-935-7180 (Fr. 竹谷)  
 八事聖霊修道院 ☎052-832-0434 (Sr. 武田)

**映画 father**

カンボジアへ幸せを届けたゴツちゃん神父の物語

人間味あふれるゴツちゃん神父86歳の集成の旅。

1981年、祖国の内乱や殺戮から日本に逃れてきたカンボジア難民の子どもを受け入れ育て、その関わりから始まったカンボジアでの学校作りは広がった支援の輪により19校に上る。その集成となるカンボジアへの旅と故郷長岡への旅、そして後藤文雄神父(神言会)の日常を追った2年にわたるドキュメンタリー映画。

上映 6月30日(土)より  
 劇場 名演小劇場(錦通東新町・中電ビル東)  
 ☎052-931-1701

**第4回『あとから来る者のために』原発研修会**

どなたでも、お気軽にご参加ください。

日時 6月9日(土) 13:30~15:00  
 場所 カトリック布池教会信徒会館3F  
 名古屋市東区葵1丁目12-23

参加費 200円  
 主催 次世代を考える会  
 問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360